

将来ビジョン策定時における再編案別収支シミュレート

1 将来ビジョンにおける収支シミュレーションの結果

■ 資金期末残高の結果（比較表）

フェーズ0～Ⅲまでの50年間の資金期末残高が最も高く推移した案は案4－③（機能分化）、続いて案1－③（小規模な急性期病院を設置）、案4－②（機能連携）でした。

最も低い値となったのが案4－①（現状維持）となり、案4－③との差は386.2億円です。

▼ 資金期末残高の比較表

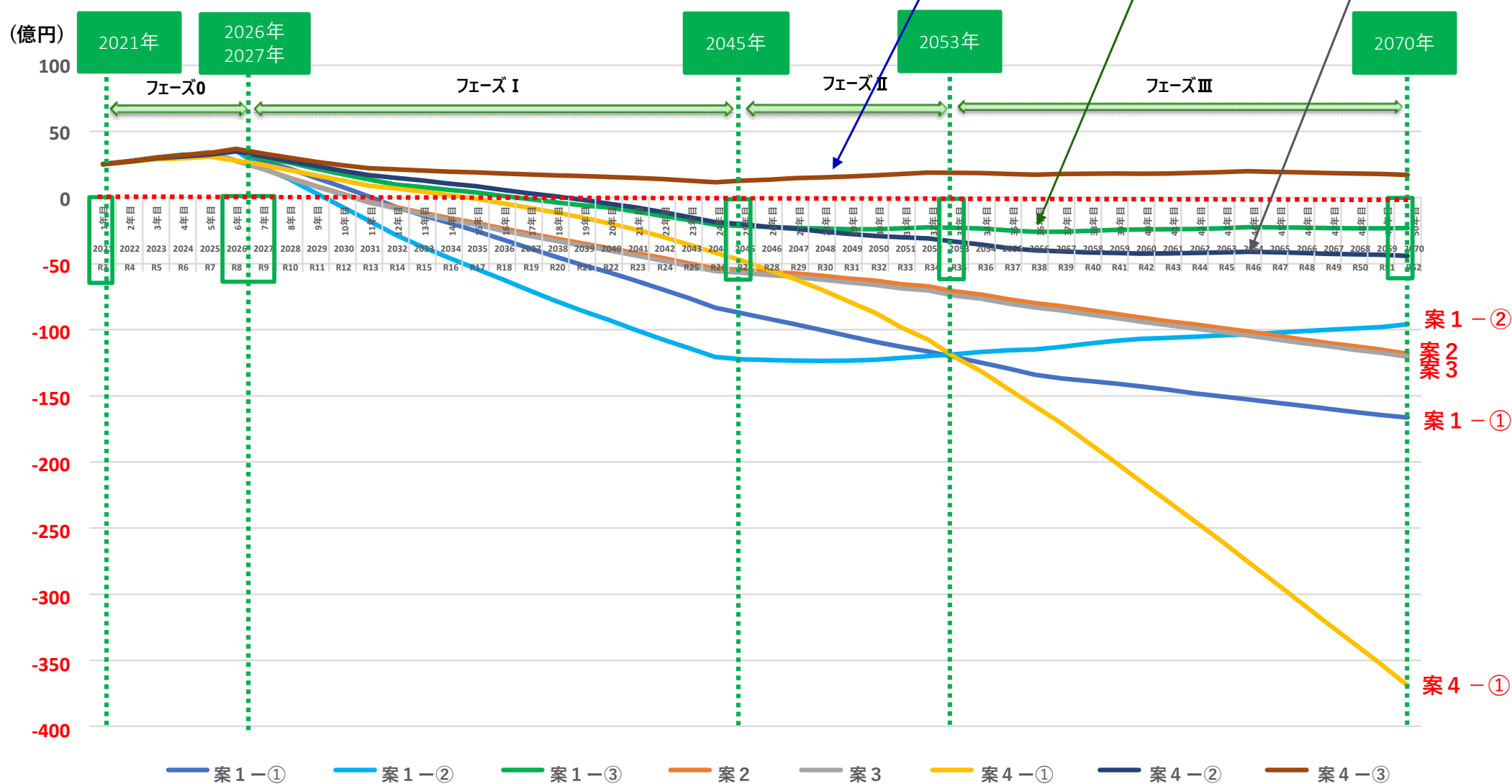
(億円)

資金期末 残高	再編フェーズ	案1(新病院建設)の派生			案2 (中央病院への 完全集約)	案3 (市民病院への 完全集約)	案4派生(2病院活用)		
		案1－①	案1－②	案1－③			案4－①	案4－②	案4－③
		新病院建設 ※大規模	新病院建設 ※中規模	新病院建設 ※小規模			現状維持	機能連携	機能分化
	フェーズ0～Ⅰ (R3～R26)	-83.4	-120.6	-20.7	-53.5	-55.8	-41.8	-18.6	11.5
	フェーズ0～Ⅱ (R3～R34)	-116.5	-119.9	-22.5	-67.1	-70.4	-107.6	-31.0	19.0
	フェーズ0～Ⅲ (R3～R52)	-166.3	-95.9	-23.2	-118.0	-120.4	-369.1	-44.2	17.1

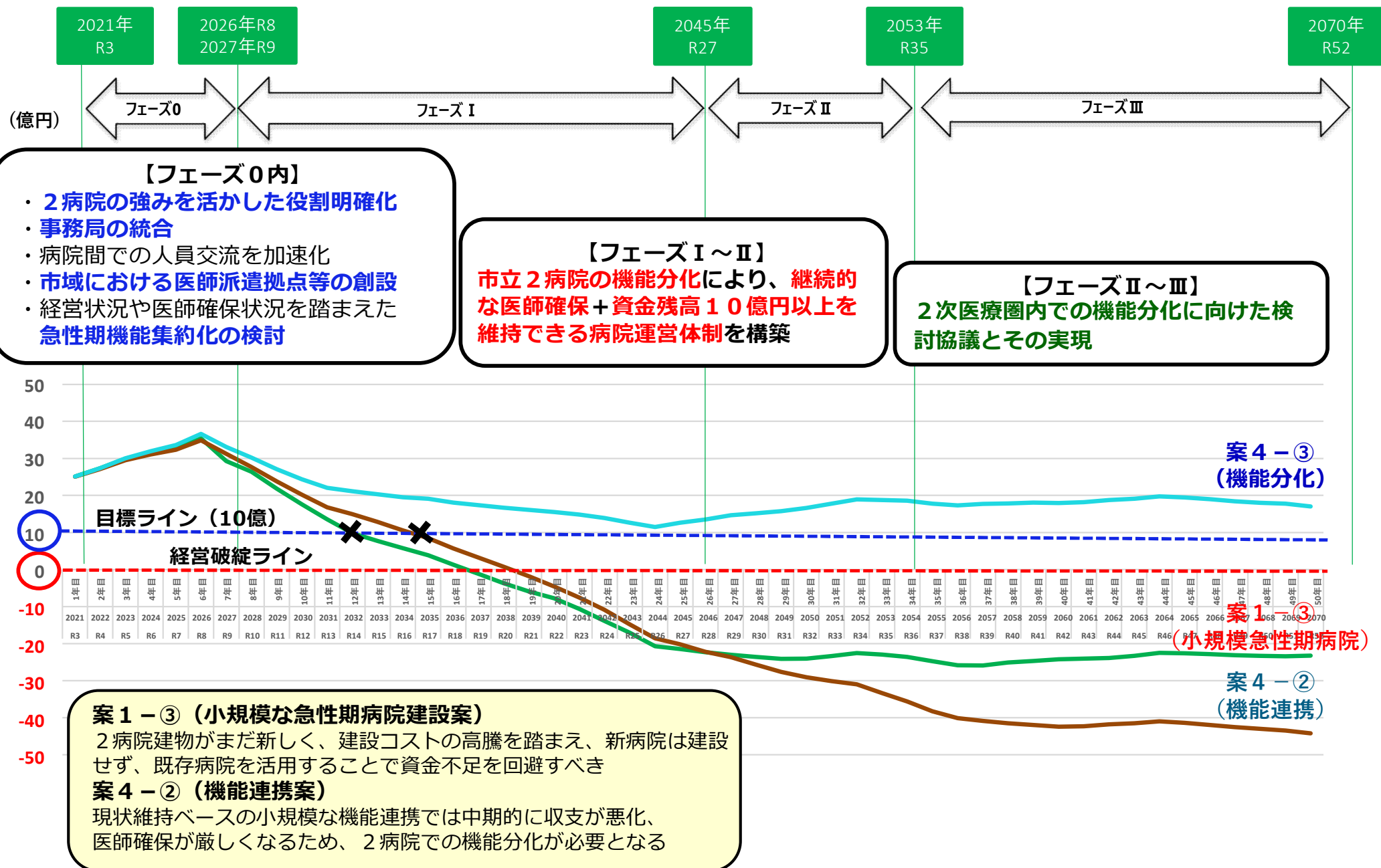
1 将来ビジョンにおける収支シミュレーションの結果

■ 資金期末残高の結果（推移グラフ）

▼ 資金期末残高の推移グラフ

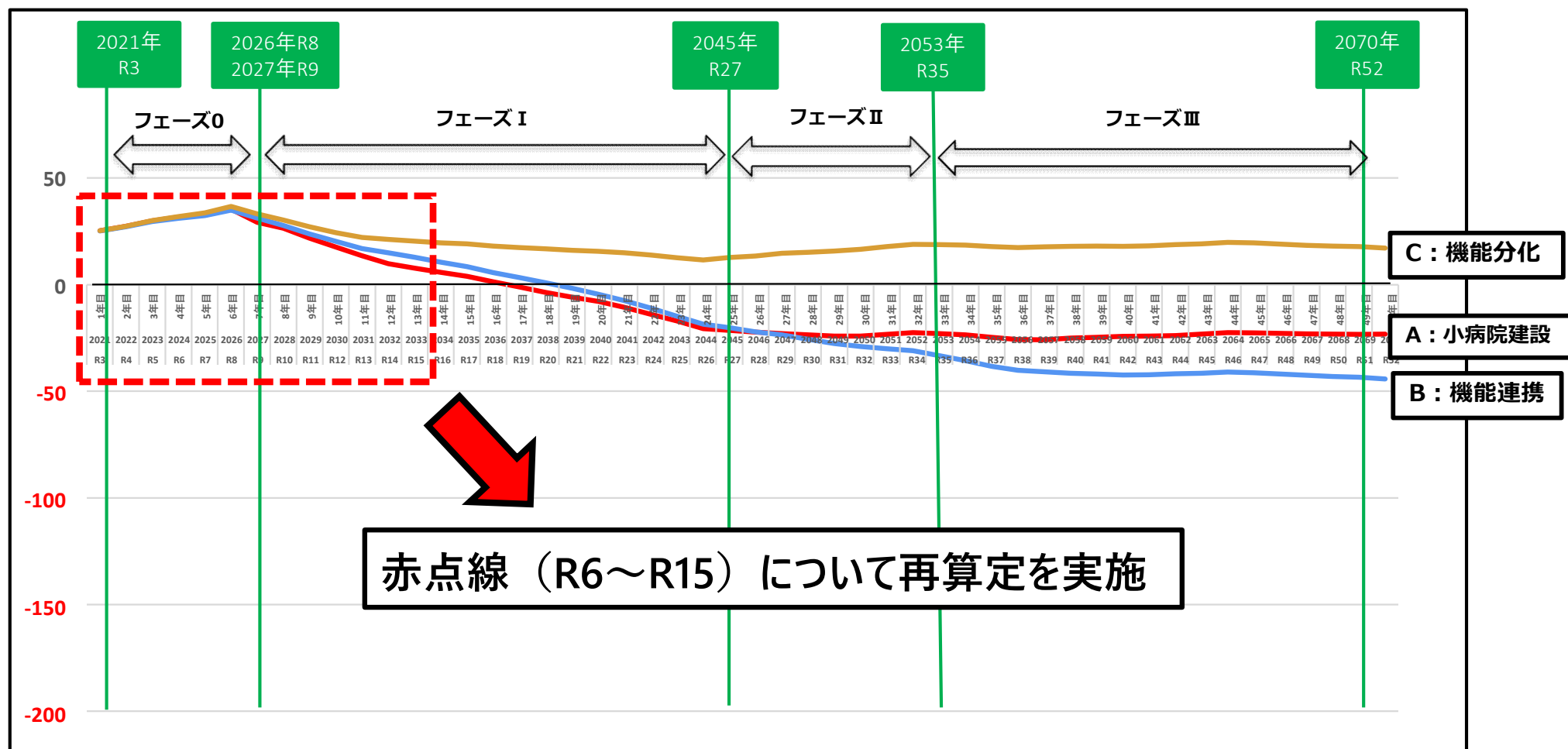


1 将来ビジョンにおける収支シミュレーションの結果



(参考) 将来ビジョンにおける再編案別収支結果

昨年度、経営アドバイザーより「当時の収支予測が大幅に下振れしている可能性があり、早期の対応が必要となる可能性が高いため、直近10年以内の算定を行うことが現実的」との助言を受け、令和15年までの将来推計を再算定しました。



(参考) 将来ビジョンにおける再編案別収支結果

